

## 0歳から18歳までの教育の入口

## 保育所×小学校連携

### 保育の様子



裸足で感覚を豊かに



身の回りの整理整頓



話の聞き方は先生への信頼の証



玄関に集合するときの約束

| 期           | 第I期(準備期) 助走   | 第II期(進展期) ホップ   | 第III期(発展期) ステップ  | 第IV期(充実期) ジャンプ  |
|-------------|---|---|--|---|
| 育てたいさろまっ子の姿 | 思いを伝え合い豊かな未来を創る子  | 認め合い、励まし合える子  | 健康な心と体を持ち、やり遂げられる子                                     |   |
| 学ぶ力         | 絵本 味わう・表現に気付く①<br>遊び生活 思いを伝え合い遊び生活する⑤<br>日直 元気に可会⑥ 鉛筆 書く指と⑨ | 聞く(語りかけ) 共感しながら聞く②<br>会話 体験 思いを伝える⑥<br>掲示物 文字に親しみ・読もうとする⑧ | 絵本 想像したり、体験と繋がる③<br>遊び 工夫・協力し合い遊ぶ⑦<br>おゆうぎ会 感情豊かに表現する⑪ | 伝え合い 伝え合う喜びを感じ、楽しむ④<br>作品テーマ 表現したいことをみんなで話し合う⑩<br>情報や施設 ⑫ |
| 環境          | 畑栽培 野菜の苗植える⑭<br>散歩 自然に触れる⑮                                  | 制作・散策 素材の数や形に気付く④<br>身の回りの数 合わせていく・多い少ない⑩                 | 身の回りの形 組み合わせ・大きさ・長さ⑬<br>カレンダー・時計 曜日、何時ごろ、数字⑩           | 遊びや生活～数を使う 文字や数量、量などを生活で使おうとする⑯                           |
| 表現          | 朝の歌 友達と元気に歌う⑲   | お世話話 動物の命を育む⑳   | 収穫⑰ 調理⑱  | 雪遊び 雪や氷に親しみ・体験する㉑   |
| 健康          | 遊び 元気一杯に遊ぶ⑲   | 生活・安全 安全に遊ぶ⑲  | 表現 心に歌、言葉、おゆうぎや色々な表現を楽しむ⑲                              | 修了作品 協力して制作、表現する喜びを味わう⑲                                   |
| 人間関係        | あいさつ 元気に挨拶する⑲   | 自ら行動⑲ 共感・励まし⑳   | 遊びのルール・話し合い④⑪  | ふれ合い交流 地域・親子・異年齢⑲   |
| 年間行事        | 入所式 参観日 避難訓練(毎月) 健康診断                                       | 七夕お楽しみ会 お泊まり会 運動会   | カラオケ大会 収穫・調理 やきいも会                                     | 雪中運動会 部分豆まき会 参観日  |

[https://www.town.saroma.hokkaido.jp/machi/kosodate\\_kyouiku/2024-0516-1720-17.html](https://www.town.saroma.hokkaido.jp/machi/kosodate_kyouiku/2024-0516-1720-17.html)



②自立心



⑩豊かな感性と表現



⑦自然との関わり・生命尊重

# 虹の架け橋カリキュラム

保育所と小学校をつなぐ

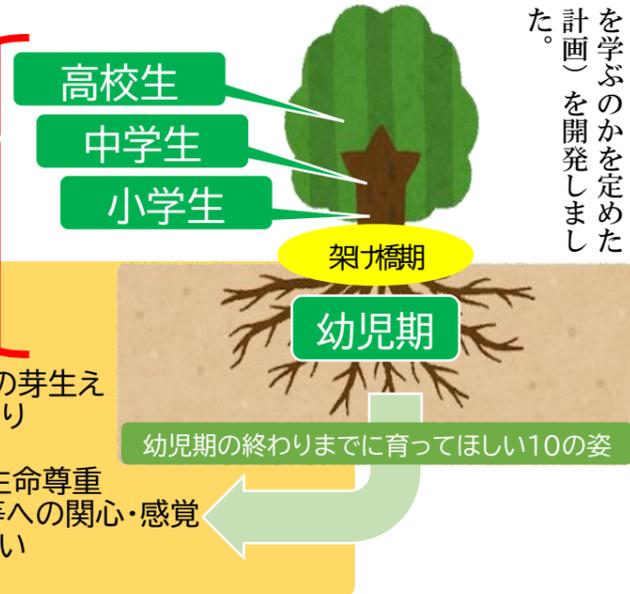
「育ちのバトン」をつなぐために

### ポイント

0歳から18歳までを見通した佐呂間町の教育

### チェック

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現



佐呂間町では、昨年度まで、文部科学省及び北海道からモデル地域の指定を受け、保育所と町内各小学校が協働してカリキュラム(どの段階でどのようなことを学ぶのかを定めた計画)を開発しました。

このカリキュラムは、リレーという「バトンゾーン」です。保育所で、遊びを通して培われた資質・能力(育ちのバトン)を、スピードを落とすことなく小学校に繋ぎ、やがて中学生、高校生に引き継いでいくことが重要です。

佐呂間町では、このカリキュラムを「バトンゾーン」として、今年度から本格的に取り組んでいます。

佐呂間町では、この計画を「さろまっ子の虹の架け橋カリキュラム」として、今年度から本格的に取り組んでいます。

◆虹の架け橋カリキュラムとは？

幼児期は遊びを通して小学校以降の学習の基盤となる学びの芽生えを培う時期です。よって、小学校においてはその芽生えを更に伸ばしていくことが必要であるため、幼児教育と小学校教育を円滑に接続していくことが重要です。

佐呂間町では、この計画を「さろまっ子の虹の架け橋カリキュラム」として、今年度から本格的に取り組んでいます。

◆実際の保育の様子

教育委員会では、6月初旬に佐呂間保育所を訪れました。

保育所では、写真のように、昨年度作成したカリキュラムに基づき、遊びを通して質の高い保育が展開されていました。

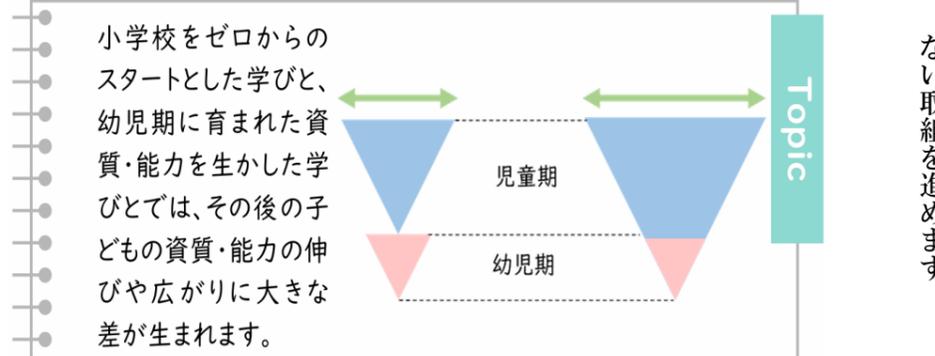
ここでは、左上のイラストのように「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に関わる保育所の取組を紹介いたします。

②自立心

佐呂間保育所では、幼児が、しなければならぬことを実感し、自信を持って行動できるように、朝の日直を子どもたちに取り組ませています。先生が近くについている子どもたちも、日直ができていく姿に「自信」が現れています。

⑩豊かな感性と表現

幼児が、手をつないで元氣よく朝の歌を歌っています。先生も一緒に笑顔で歌っており、歌うことの楽しさを幼児と共有しています。こうした環境で、子どもたちが進められると、保育士で表現する喜びを味わい、表現することへの意欲が高まります。



左側のイラスト右図のように、幼児の学びを入学時にリセットしない取組を進めます。

保育所段階で朝の日の直ができる力を育んだ保育所からのバトンを、小学校の先生方は十分理解した上で、学校生活につなげていく必要があります。

このようにして培われた資質・能力(育ちのバトン)を、今度は小学校の先生方がつなぎます。

保育所段階で朝の日の直ができる力を育んだ保育所からのバトンを、小学校の先生方は十分理解した上で、学校生活につなげていく必要があります。

育ちのバトンをつなぐために

保育参観は30分程度でしたが、佐呂間保育所の先生方は、「虹の架け橋カリキュラム」を踏まえて、素晴らしい保育に取り組んでいます。

引用：北海道版幼児教育スタートプログラム～つながろう つなげよう 子どもの学びと育ち～